「地域連携講座」
地域療育センターの取組について

社会福祉法人　清心会
さやかこども支援センター
秩父地域療育センター　長谷川智恵美

埼玉県秩父地方

人口：1市4町　約10万3千人　埼玉県の1.4%

面積：1市4町 約930km² 埼玉県の約24% 70%以上が山林

東京都・群馬県・山梨県・長野県に隣接

埼玉県秩父地方

西武秩父駅前温泉 祭の湯

秩父夜祭

羊山公園芝桜

秩父を舞台にしたアニメ

『あの日見た花の名前を
僕達はまだ知らない』

『心が叫びたがっているんだ』

秩父鉄道ＳＬ

長瀞渓谷

阿佐美冷蔵

さやかグループってどんな所ですか？

知的障がい者がくらす、施設や寮を運営し、
利用する方々の支援をします。
→生活支援

知的障がい者がはたらく、工場やお店を運営し、
利用する方々の支援をします。
→活動支援

さやかグループってどんな所ですか？

障がい者の仕事や生活、子育て等の相談を受け、
地域生活を支えています。
→相談支援

障がい者の外出や遊びのお手伝いや、自宅に
訪問して掃除や食事を作ったりしています。
放課後等デイサービスも運営しています。
→地域支援

さやかグループってどんな所ですか？

障がい者、特に知的障がいの方を

対象に、秩父地域で総合的に支援を行っている

「地域密着型」の

障がい福祉サービス事業所です。

社会福祉法人清心会　実施事業

ＧＨさやか（１９ヶ所＋サテライト型ホーム1ヶ所　定員１０６名）

地域移行型ホームさやか（２ヶ所１１名）

さやかグループってどんな所ですか？（ぽっぽ）

ぽっぽ横瀬店

ぽっぽ長瀞店

ばらーど

さやかサポートセンター

秩父障がい者総合支援センター　フレンドリー
秩父障がい者就業・生活支援センター　キャップ
埼玉県地域生活定着支援センター　さやか
ヘルパーステーション　ちちぶわくわくクラブ

秩父地域の地域生活支援拠点を目指して

さやかこども支援センターとは

　秩父地域の障がいがある方や、発達の心配なお子さんが安心して地域生活が送れるよう、療育や生活等を含めた総合的な相談に応じています。また、関係機関と連携し、専門職やスタッフを地域に派遣し事業のお手伝いを行っています。（療育）
　児童発達支援事業所（あみぃ）と放課後等デイサービス（キッズクラブ）を同じ建物で実施しています。
　障がい児（者）が住みやすい豊かな街づくりを地域に働きかけ福祉の向上を図る事業を行っている事業所です。

実施事業

① 障がい者（児）相談支援事業
② 障害児等療育支援事業
③ 子ども発達巡回支援事業
④ 専門職派遣事業
⑤ 発達障害児地域療育センター事業

＊児童発達支援事業
＊放課後等デイサービス

事業で大切にしていること

・母子保健事業と連携して、障がい児支援としてではなく、子育ての一環として支援を始めます。
・必要なのは診断や障がい児として扱うことではなく、児の発達のつまずきを理解し適切に関わることです。
・保護者に寄り添う支援をします。
・児への発達支援をします。
・保育者等支援者への支援をします。
・関わる人たちをつなぐ支援をします。
・困っているのは大人ではなくて、子ども本人であると理解します。
・地域の資源・機関をつなげていき、みんなで児への理解を深めていきます。
・この積み重ねが、発達障がい児を支援する結果となります。

地域療育センターについて

埼玉県地域療育センター

平成２７年度開設

秩父地域（秩父市）
東部地域（越谷市）
利根地域（久喜市）
南西部地域（志木市）
西部地域（入間市）
県央地域（桶川市）

平成２８年度開設

北部地域（寄居町）
川越比企地域（川越市）
南部地域（川口市）

概要

　専門的な知識を有する作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、臨床発達心理士などの専門職が、アセスメントにより子どもの特性を把握し、その子に合った個別療育を提供することによって子どもの発達を促します。（専門職の配置はセンターによって異なります。）

対象児

発達障害の特性が気になる就学前から小学校3年生までの子ども

＊発達障害の診断の有無に関わらず利用することができます。
＊埼玉県内（さいたま市を除く）にお住いの方に限ります。
＊医療機関で発達障害に関するリハビリテーションを受けている方や、児童発達支援センター等で公的サービスとして個別療育を受けている方は対象外です。

発達障害とは？
（発達障害者支援法での発達障害の定義）

- 広汎性発達障害
- 自閉症
- アスペルガー症候群
- 学習障害（LD）
- 注意欠陥多動性障害（AD/HD）

その他これに類する脳機能の障害
その症状が通常低年齢において発現するもの

発達障害の特性とは？

- ことばが遅い
- こだわりが強い
- 気が散りやすい
- 友達とトラブルが多い
- 場面のきりかえが難しい
- 読み書き、算数が極端に苦手
- 手先が不器用
- じっとしていられない
- 集団行動ができない
- なんとなく育てにくい
- 忘れ物が多い
- 会話にならない

利用期間

個別療育プログラム開始から1年以内です。

利用料

アセスメント結果の説明（アセスメント最終回）及び個別療育プログラムの利用料は1回1,000円です。

利用の流れ

アセスメント

・親面接　・発達検査　・個別療育計画

個別療育プログラム

（１年以内）

地域支援

（６ヶ月以内）

地域支援

- 保護者の方と一緒に、日常利用している保育所、幼稚園、学校等を訪問し、先生方に個別療育の状況や支援のポイントなどをお伝えします。

親支援

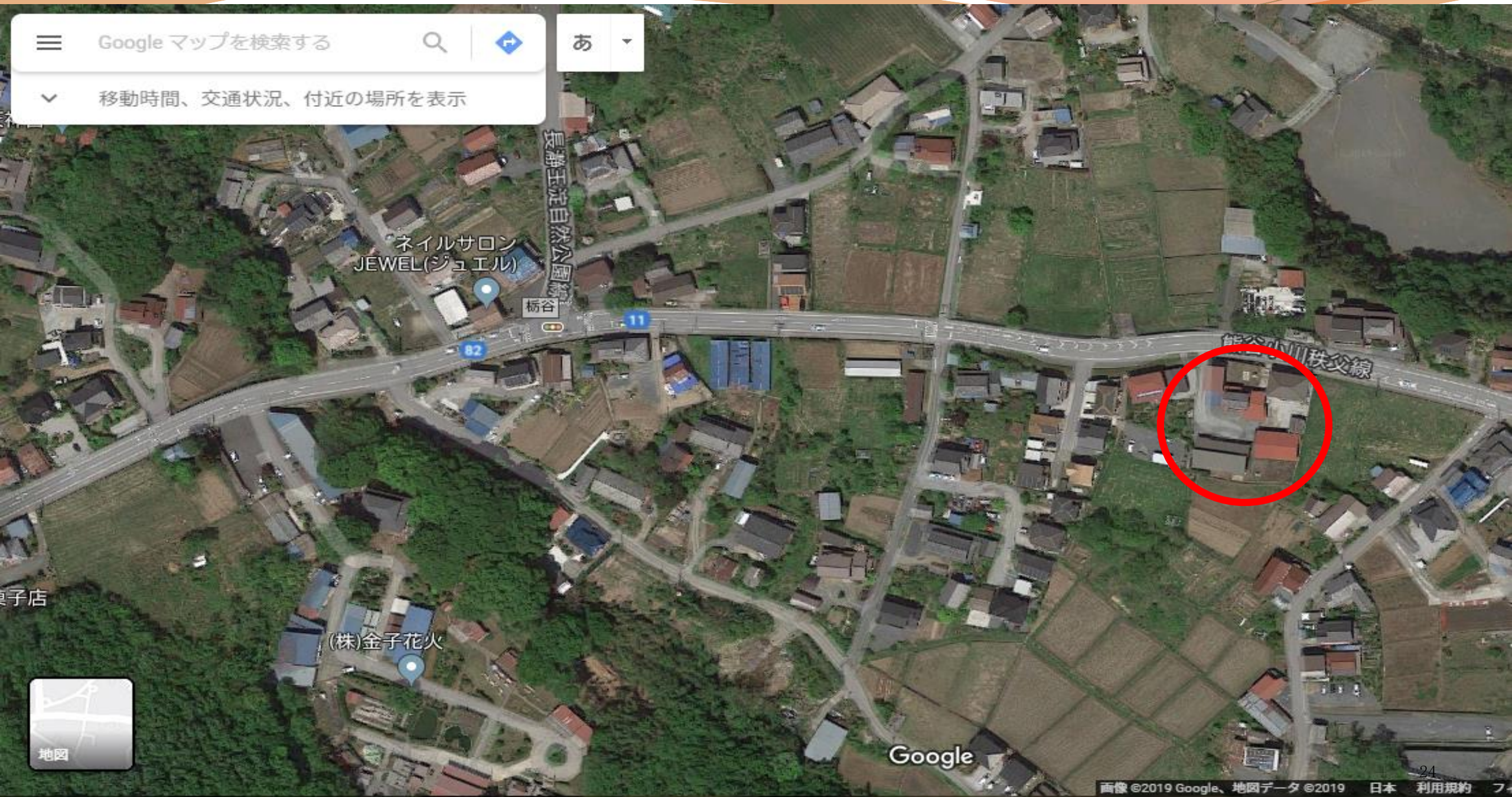
- 御家庭における子育ての参考としていただくため、個別療育計画や個別療育プログラムの説明を行います。
- 保護者サロンや保護者向け学習会などを開催します。

障害児通所支援事業所への助言・支援

　地域療育センターの専門職がこれまで行ってきたアセスメントや個別療育のノウハウをもとに、障害児通所支援事業所に対して、アセスメントや支援計画の作成、特性に応じた支援の方法について助言・支援を行います。

　保護者からの申込書・同意書と事業所の申込書・同意書が必要です。

秩父地域療育センターでの取り組み


Google マップを検索する
あ
移動時間、交通状況、付近の場所を表示
長野玉淀自然公園線
ネイルサロン
JEWEL(ジュエル)
栃谷
11
82
秩父線
(株)金子花火
地図
Google
画像 ©2019 Google、地図データ ©2019
日本
利用規約

スタッフ

- 公認心理士
- 作業療法士
- 言語聴覚士
- 理学療法士
- 保育士

＊各専門職は月に数日の非常勤のため、電話受付や連絡調整などは保育士が行います。

利用までの流れ

- 電話による申し込み
- 保育施設巡回相談から紹介
- 保健センター事業からの勧め
- 育児相談（市町・さやかこども支援センター）にて紹介

個別療育

- 保護者の同席のもとに行います。
- 保育施設の先生や担当保健師が同席します。
- さやかこども支援センターの保育士が必ず同席します。
  （専門職のサポート、保護者の支援）

作業療法の一場面

連携（個別療育を継続しながら）

- 専門職と保育士、保健師、教育委員会などによる巡回相談
- 育児相談、発達相談（市町、さやかこども支援センター）
- 専門職と保育士の話し合い

親支援

- 年2回の就学セミナー
- 子育て支援センターでの講演会
- 法人の福祉セミナー
- 保護者サロン

事例

公立小学校　１年生　男児
通常学級在籍　　サポートルーム（通級指導教室）利用

年少　　巡回相談
年中　　フレンドリーリハビリ相談（発達の特徴が見られる）
　　保健センターの運動の相談（地域療育センターのすすめ）
　　フレンドリー育児相談（ペアレントトレーニングの紹介）
　　新版Ｋ式発達検査（全検査１０８）
　　地域療育センター（作業療法）開始
年長　　ペアレントトレーニング（全10回）参加
１年生　　母より相談（小学校でのトラブル）
　　地域支援で小学校訪問（公認心理士、保育士、保健師）
　　フレンドリー育児相談
　　作業療法継続利用

ご清聴ありがとうございました。

秩父地域療育センター

０４９４－２６－７９６６（代）
さやかこども支援センター